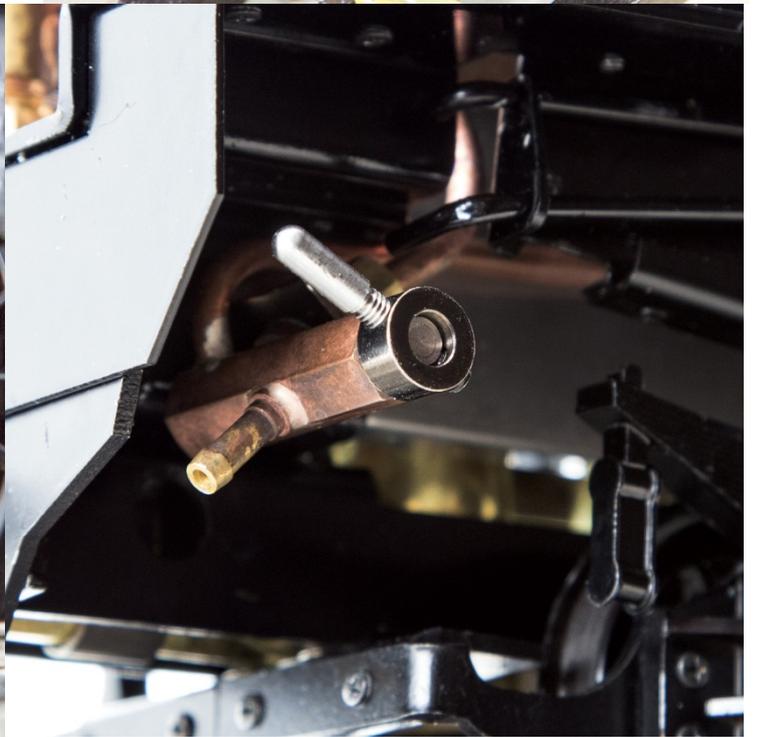
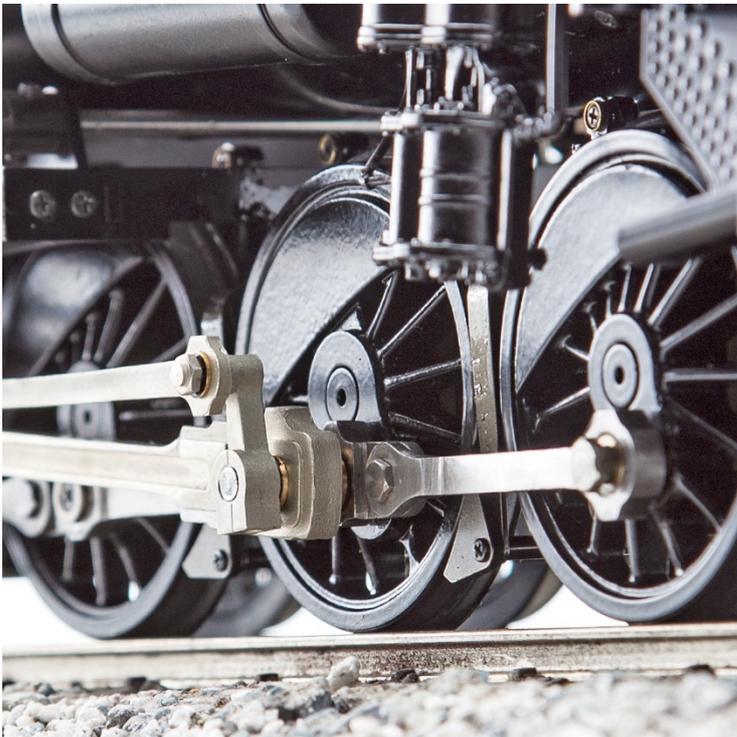
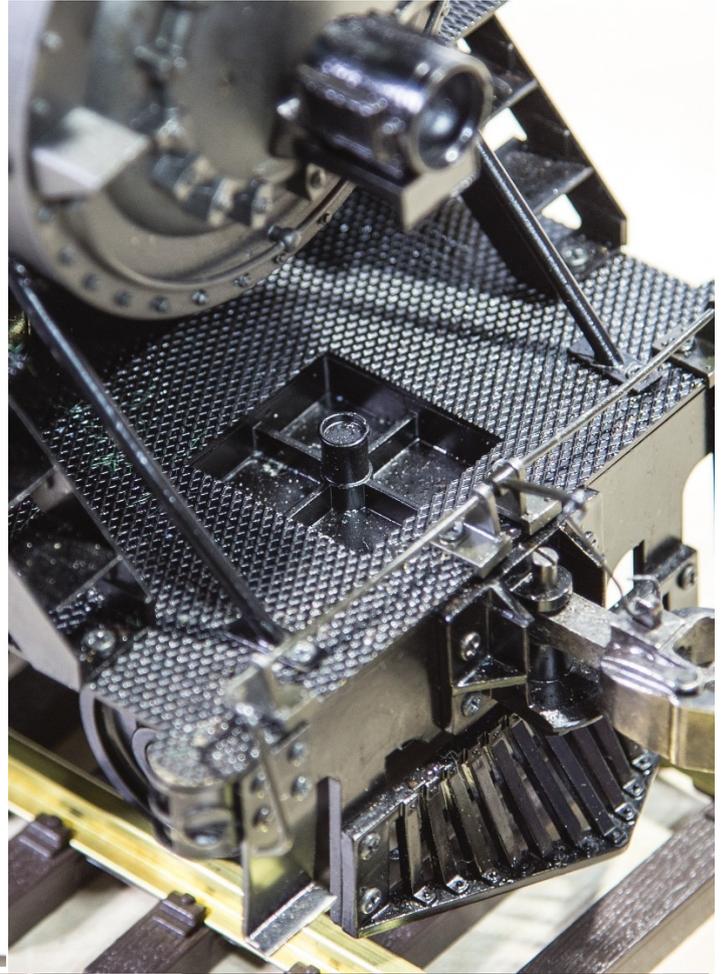
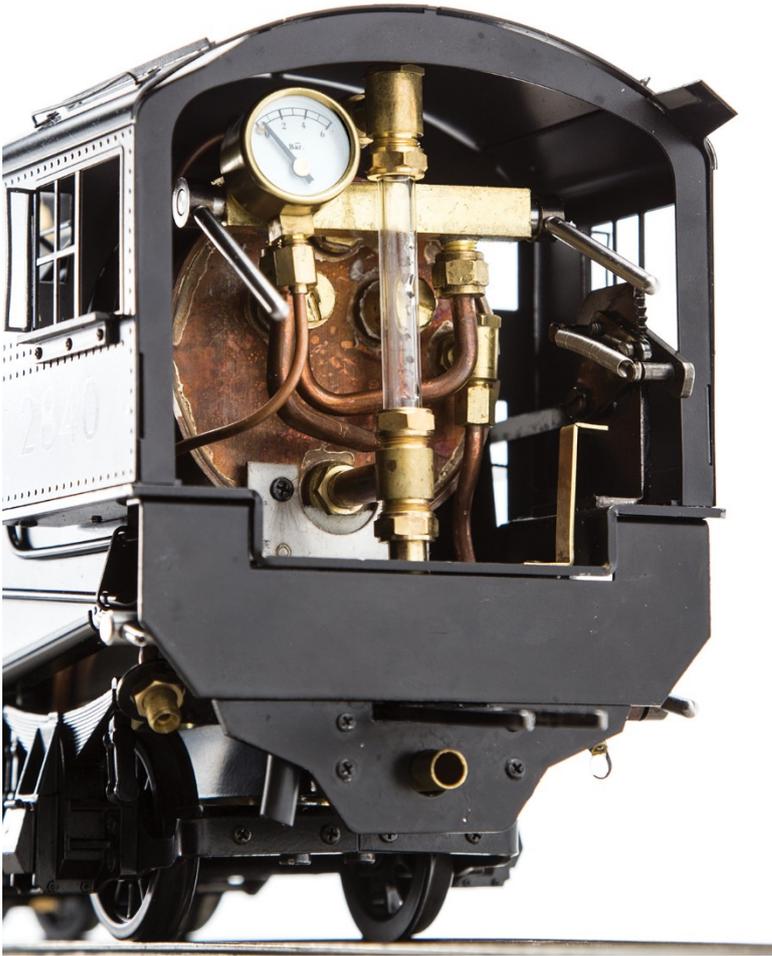


イコライザー・排水弁・鋳鉄車輪で旧型からかなり機械的に磨き上げたミカドです

ミカド：キット **特価：480,000⇒432,000 円販売中**



ミカドには鉄道会社別に塗装などに違いがありますが、グレートノーザン鉄道仕様以外価格は均一です。**コロナ期間なので、納期にお時間は頂きますが、お安く御提供可能です。**<https://youtu.be/NNh2Y-kr44Q> 左のリンク先は You-Tube で、アメリカ R2 程度のカーブを当にスケールスピードで！多数の牽引車を引っ張って走る本モデル (NYC 仕様のライトミカド) です。ヘッドライトやマーカーライトが点灯する改造だけではなく、この速度を維持した牽引力！ここまでやれます。凝った分、旧型より、少々手こずるでしょう。貴方の腕次第です！Stay Home 期間、旧満鉄でも活躍したミカドのブラッシュアップ！是非挑戦してみてください。



New Stainless Machining Rod



Old Brass lost wax with Nickel plate Rod

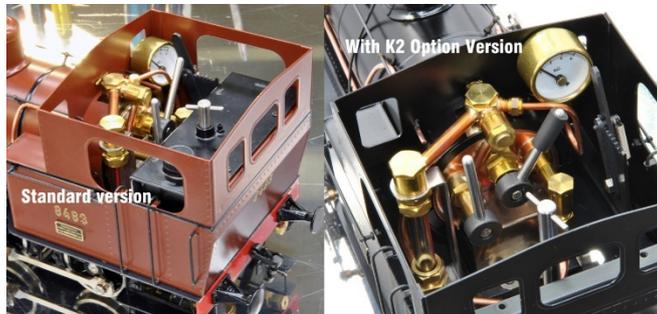
なお開期間中のミカド購入者にはアキュラフト製リーファー（保冷車）又は有蓋車も今なら1台 12000 円と！トイザラスの G ゲージ並みの価格で御提供可能です。是非この機会に、満州でも活躍したアメリカ型の本格派をコレクションにお加えください。

Tiger スタンダードオーナーのお客様へ朗報です **K2 Utility set** 再販決定！

正直この価格帯でスタンダードタイプの走行可能時間が 20 分以下は、短過ぎた様で、欧米特にアキュラフト US では、アスタ



ーブランドの K2 は、ユーティリティ有蓋車付きでない「売れません」。しかし当初生産数は、10 万も高くなるから「**そんなに出ないだろう**」と考えていました。だってアキュを含め他社のガス焚で同程度のモデルと変わらない位の 15 分程度は「走る」からです。(見込みは甘かった様です)。Tiger より先に UC の K2 が売り切れてしまいました。そこでユーティリティーカーの価格を抑える為にと皮だけの有蓋車を見分ける為に茶色に色分けしてリリースした欧州共通型 K2 にも Utility 装備を付けることにして、多分 9 月末には準備が整うと思います。再販します！既存 K2 に追加し主に北米向けに生産するので日本向けは予約販売です。K2 のユーティリティーカーを牽引して、タイガーの性能を存分に発揮できる最後のチャンスです。予算の関係で同時購入を諦めていて、売り切れで「しまった！」とホゾを噛んでいたお客様。お待たせ致しました。最後の買い時です！

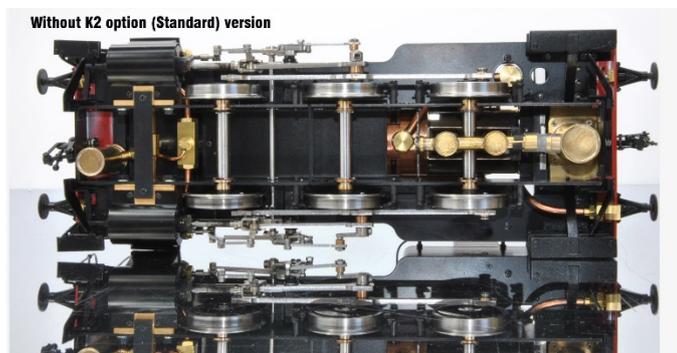


K2Utility キットに含まれる追加部品の説明

(タイガー側に組み立てられる追加部品)

スタンダード(左茶色)と UC キットに付随する、自動給水ポンプをつけた Tiger のキャブ(右側)の差。

燃料タンクのスペースにはバイパスの操作弁が組み立てられています。



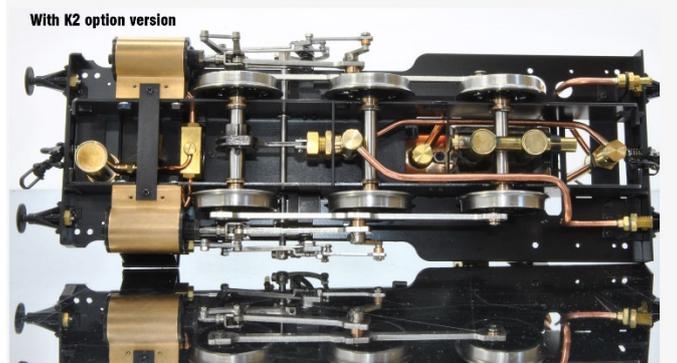
スタンダード(上)と UC キットに付随する、自動給水ポンプをつけた Tiger のシャーシ部の差。

第一動輪軸には、ポンプ用の偏心輪が組み立てられ、軸間にポンプが組み立て直す事になります。

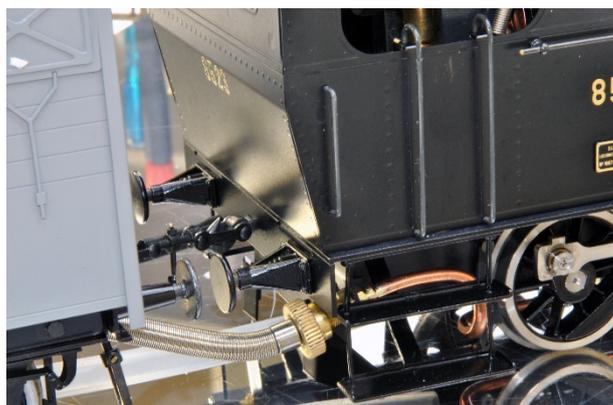
サンブは無くなり、バーナーの接続空間(燃料の供給を確認できる)空間が広くなります。

又、給水性能の向上に伴い、バーナー火力のアップを図る為に、バーナホルダーの径がサイズアップしています。

(Φ10mm⇒Φ12mm)



燃料タンクのスペースに組み立てられるバイパス弁の位置と追加される配管を可視化する為に、キャブや付随するディテール部品を外した状態。



燃料タンクと水は通常のテンダーと同じように接続される。

写真はオリジナルのスイス国鉄色の K2 ですが、今回は欧州共通色の Brown にボディは塗装されています。



K2 の水槽と、脱着式の燃料タンクの配置。

燃料タンクはスタンダードの 3 倍超の容積になるので、上手い人ならば 1 時間近くの連続運転が可能になります。

水槽にはハンドポンプが標準装備され、始動時の給水は楽になります。

提供価格は、スイス型より、若干安く設定しました。10 万円(税送料別)です、上記写真の別売ディカールも御用意しています。

B1 の発売開始！(予約のお客様向け納品は連休明けの予定です)

今回こそは、より初心者フレンドリーなキット内容に！なっています。



LNER の黒及び緑のキット 360,000 円(税送料別)／BR の黒が 330,000 円(税送料別)

LNER 仕様は超限定品ですので在庫を確認下さい。在庫は、しません。なお上記価格に、輸入関税と航空輸送費が加算されます。ご注意ください。<https://youtu.be/flxlzzGyTA0>

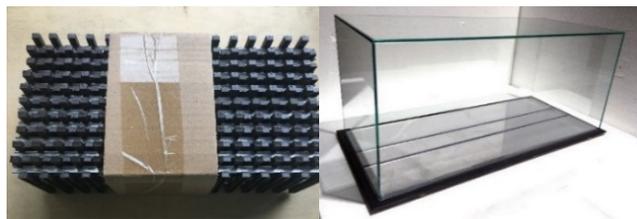
その他バーゲン品情報。

通常価格3万円の写真のサイズの新品アクリルケース。

また、5MT 用のアキュから供給された**飾りレール(アルミ製)**これをキットに付けても弁調整治具には使えないと言う判断から、弊社製オリジナルを付けた結果、この飾りレールが残り2セット余っています。

バラ購入の場合レール30cm1本 2500 円。20本一括購入の場合2万円(税送料別)です。

現状残数は 1 セット 20 本です通常価格3万円の写真のサイズの新品アクリルケース。



● 但し**ポッキリ商品は、リクエスト無し**でお願いします。

● EF58 未塗装キット**税込み**9 万円ぽっきり

● EF58 塗装済みキット**税込み**10 万円ぽっきり **緑限定。**

不良欠品欠損等の保証は付きません。その点も、お含みおき下さい。

最後の完成品も含め完売致しました。から…

御客様から寂しいお便りを頂きました。曰く「日本型は今後無いということで、お金が無くて買えなかった物が、お金があっても買えない物になり、寂しい時代となりました。これも時代の流れで仕方ないのしょうね。」すみません。そうなんです。日本型の最盛期 C57 の二回戦や 3 回目の C62 の頃は、予約で 100 人はあつという間、締め切りまでに 150 人以上のバックオーダーを抱えられました。20 系のコーチが「最後」だったですね。そのような伸びを見せたのは、ですから、「二匹目のドジョウ」。窓の数が 1 枚少ないと、御批判の多かったスハを正しい形(縮尺)で、且つ値ごろ感を併せて、ご提供したんですが、今や、それが在庫で残る始末です。結果から導き出せる答えは「もう日本型は出せません」し、「出しません」です。済みません。最新の日本型も含む在庫状況に関しては、ホームページでご確認下さい。<http://www.asterhobby.co.jp/>

